



土づくり運動
(シンボルマーク)

植物腐植質の濃縮完熟堆肥

くみあい
粒状ハイフミン特号

地力増進法に基づく指定土壌改良資材

健康な土づくり

「根」生き生き!!

農協 全農 経済連

製造：日本肥糧株式会社

I 原料と製法

天然の良質な植物 有機物を原料にして、万全な品質管理のもとで完全に熟成した均質な製品です。従って腐植量が多い 高品質の濃縮堆肥です。



分析内容

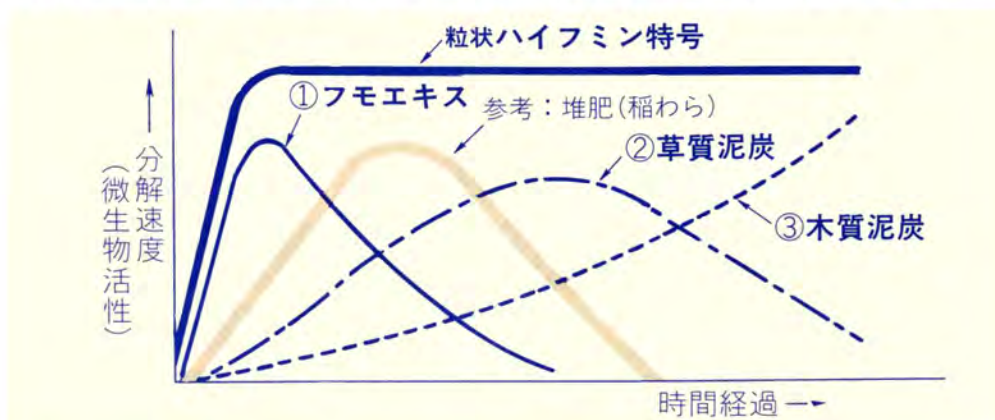
項目	粒状ハイフミン特号	(参考)堆きゅう肥
乾物100gあたりの有機物の含有量	50 g以上	20 ~70
有機物中の腐植酸の含有率	30 %	
水分	約40 %	52.2~88.3
pH	6.0 前後	4.5~ 9.3
全炭素	31.5 %	11.0~44.5
全窒素	0.59 %	0.4~ 3.07
陽イオン交換容量(CEC)	80 meq/100g	50 ~80
電気伝導度(EC)	1.0 mS/cm以下	

II 特性と用途

■ 3種類（フモエキス、草質泥炭、木質泥炭）の腐植物質が、よく腐熟して 適度な水分を含んでいます。土壌に速くなじみ、早くから長期にわたって分解し、土壌中の微生物の働きが盛んになり、効力が持続します。

これらのため、土壌に活力をあたえ、健全な土壌に改善します。

従って、施用時から効果を発揮し、初期生育が極めて順調に生長します。



- ① **フモエキス**：水溶性の腐植が、作物にすぐ効果をあらわし、微生物活性を高めます。
- ② **草質泥炭**：セルロース類を豊富に含む腐植が、有用微生物の活動を盛んにします。
- ③ **木質泥炭**：腐植粘土複合体とリグニン質腐植が多く、遅くまで効果をあらわします。

■ 自給堆肥などの有機物資材にくらべ、製品が規格化されているので、品質が常に均一で安定しています。

また、連用しても塩類集積がなく、安心して使えます。

あらゆる農園芸作物・植物等に、いつでも施用できます

区分	対象	施用場面
農耕地	●水 稲	本 田 } 播種(育苗)～本畑 幼木～成木(新植・改植)
	●露地やさい ●施設やさい ●果 樹	
園 芸	●花 卉 ●芝	播種—育苗—植付
樹 木	●庭木(花木) ●緑 化 木 ●植 栽	苗木、仮植、成木

1. 土壌に対する改善効果

団粒形成の促進

- 施用によって、0.5mm以上の耐水性団粒が増加します。

通気性・保水力の増強

- 気相率が上がり、保水量が増大します。
- 孔げき率が増加し、保水力も高まります。
- 孔げき率の増加によって、物理性がよくなります。

透水性の向上

- 施用量を増加するに従って、透水性がよくなり、水の浸透する時間が短くなります。

土壌の緩衝能が増大

- 土壌の緩衝能が高まり、肥料などの施用によるpHの変動が小さくなります。

2. 土壌微生物に対する効果

有用微生物の増加と微生物の多様化

- 有用微生物の種類が多くなり、土壌微生物の構成が良くなります。
- 硝酸化成菌の働きを高めるので、土壌消毒後の硝酸化成能の回復が早まり、肥効促進に役立ちます。

3. チッソの肥効促進効果

チッソの肥効促進と持続性の増強

- 肥料の利用率が高まるので、肥効が促進されるとともに、後期まで養分バランスを調節します。

4. リン酸の肥効促進効果

土壌中の有効態リン酸が増大

- リン酸の不溶化をおさえ、また有効化を促進し、有効態リン酸を増加させるので、リン酸の肥効が高まります。

作物のリン酸吸収量が増大

- 床土に混合すると、リン酸吸収量の多いよい苗ができます。
苗のリン酸吸収量が、多いか少ないかによって、定植後の生育・収量を大きく左右します。
- 本圃の施用は、作物のリン酸吸収量が増大します。

5. 根の生育促進におよぼす効果

根ばりが活発化

- 床土に混合すると、根ばりがよく、根量も多くなり、活着のよい苗ができます。
- 本圃の施用は、収穫後期まで根ばりがよく、生育の衰えが少ないので、品質のよいものが安定して増収できます。

根毛の発育促進

- 根毛の発育を促進し、養水分吸収の旺盛な根をつくります。

6. 品質におよぼす効果

上物収量が安定増大

- 作物が順調に生育し、上物収量が大幅に増大します。

糖度等の品質向上

- 糖度や甘味比(糖度/酸度)が高まり、色づきよく、品質も向上します。

カロチン含量やビタミンC含量の増加

- ニンジンなどは、カロチン含量が高まり、品質向上に役立ちます。
- ホウレン草などは、ビタミンC含量が高まることが認められています。

7. 生理活性におよぼす効果

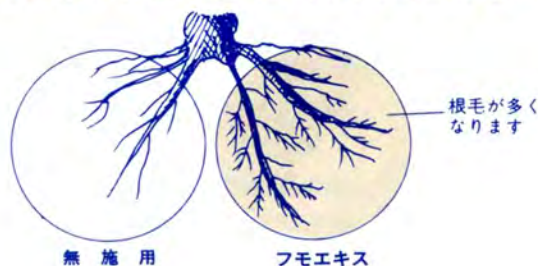
低温抵抗性の増大

- 根の活性が高まり、低温条件下での抵抗力が強く、活着力がすぐれ、生育がよくなります。

サイトカイニンの活性を上昇

サイトカイニンは、細胞分裂を盛んにし、新芽の形成を促進すると共に、葉の老化防止や低温条件下での光合成能力を促すなど重要な役割をもつ生理活性物質です。

- ハイフミン特号は、サイトカイニンの生成を促進し、その活性を高める効果があります。



IV 施用方法



特長

適度な水分を含み、造粒してあるので 散布しやすく、作業性に優れています。
また機械散布もでき、能率的です。

- 施用時期は、基肥時から生育期間中 いつでも使えます。
- 連用や施用回数が多くなるほど、土壤改善に役立ちます。(多量施用しても害がありません)
- 完全に熟成しているので、二次発酵などの心配なく 安心です。
- 健全な土壤に改善するため、pH6 前後に調整してあります。

効果の発現をあげるために……

◇◇ 施用上の注意 ◇◇

ハイフミン特号の天然有機物の効果を より一層発揮させるためには、土に充分なじませ、適度な水分を保持してから、播種・栽植をおこなってください。

※土壤の状態が過度に乾燥すると、土壤の保水改善効果が発現しないことがあります。
また、袋は日のあたらないところに、保管して下さい。

土壤の腐植は消耗していきます!!

畑や水田の腐植は、年々消耗していきます。
有機物を施さないと畑が硬くなるのはこのためです。

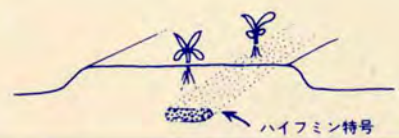
畑の消耗量

畑の腐植の消耗量は、100～150kg/10aといわれています。
堆きゅう肥1500kgからできる腐植量は100kgです。
畑の地力維持のためには堆きゅう肥で1500～2000kg/10aを施すことが必要です。

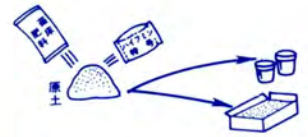
水田の消耗量

稲作で消耗する腐植量は、60～80kg/10aといわれています。
稲ワラ500kgを水田に還元してできる腐植量は25kg～30kgです。
地力維持のために稲ワラ500kgを水田に施しても、まだ30～50kgの腐植量が不足になるといえます。





使い方



- 育苗の用土には、原土とよく混ぜあわせませす。
- 育苗床には、表面散布し、土壌とよく混和してから整地します。
- 畑地では、作土に **全層施用が基本** です。
全面施用と溝施用を併用すると一層効果があがります。
- 水稲本田では、全面に散布してから耕起します。
- 果樹の新植・改植時には、植穴の土とよく混ぜて下さい。

施用基準

1袋：20kg(約28ℓ)ポリ袋入

区 別		施 用 量	
やさい 育 苗	育 苗 床	播 種 床	10㎡あたり 1袋
		移 植 床	100㎡あたり 5袋
	床 土 混 合	ポット等 鉢用土	原土 ㎡あたり 5～10袋
水 稻	本 田		10aあたり 4～8袋
や さい 花 卉	露 地 栽 培	全面施用	10aあたり 20～30袋
		溝 施 用	" 5～15袋
	施 設 栽 培	全面施用	10aあたり 50袋
		溝 施 用	" 25袋
果 樹	新植、改植	植穴施用	植穴 つあたり ¼～⅓袋
	成 木 園	溝 施 用	10aあたり 10～20袋
	樹 勢 回 復	樹冠下施用	樹あたり ¼～½袋
植 木	苗 木 床		100㎡あたり 5袋
	幼 木	溝 施 用	10aあたり 5～15袋
	成 木	植穴施用	植穴 つあたり ¼～⅓袋
芝	新植造成	原土と混和	1000㎡あたり 25袋
	目 土	目砂と混和	原土 ㎡あたり 5袋

◎土壌や対象作物(植物)により、増減して施用する。

☆詳しい使用方法については、農業改良普及所または農協にご相談下さい。

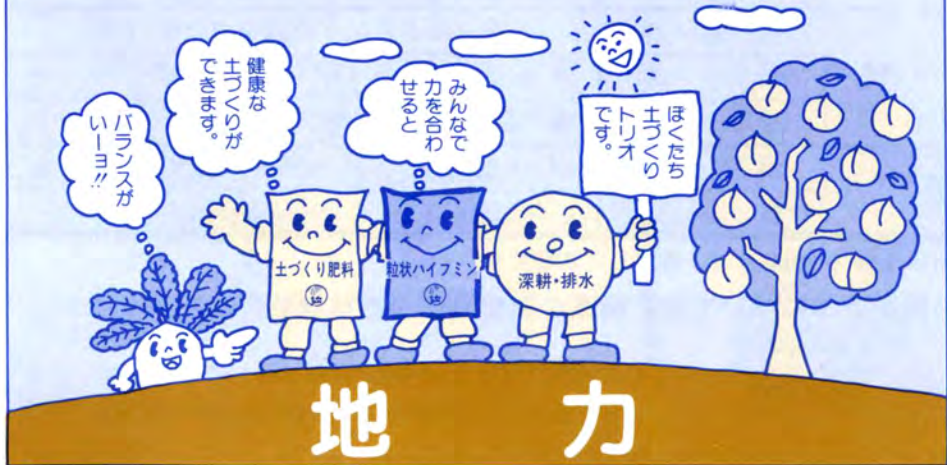
腐植 のはたらき



P：リン酸

Al：活性アルミナ

健康な土づくりを 進めましょう



地 力